

6月17日(水)、グリーンアリーナ(広島県立体育館)において「体育祭」が行われました。昨年、一昨年と広島サンプラザで実施していましたが、3年ぶりに広めの会場での実施となりました。全校生徒1086名は、クラス対抗リレーをはじめ、大玉運び、台風の目、綱引き、騎馬戦、大縄跳びなどの競技に全力を尽くして取り組みました。また、昼休憩には、ダンス部が迫力あるダンスを、新体操部は艶やかな演技を披露してくれました。大きな怪我もなく、無事に終了することができました。

当日は平日の開催にもかかわらず、たくさんの保護者・ご家族の方に来場いただきました。なんと、1286名(昨年1111名)のみなさまにご来場いただきました。来年は保護者席を拡充いたします。応援いただき、ありがとうございました。

(写真は、選手宣誓をした中3濱田さん・左と高3山本さん)



「協創、最高潮。」

体育祭のスローガン、「協創、最高潮」は生徒自治会が考えてくれたもの。このテーマに違わず、出場した競技だけではなく係の仕事、そして、仲間の応援にも真剣に取り組んでいました。悪ふざけすることなく、精一杯頑張ろうとする姿は協創生らしさと言えます。

このような姿は、学校生活のさまざまな場面で垣間見られます。平生の授業でも、全校朝礼や学年集会、ゲストをお迎えしての講演会などにおいても多くの生徒は真摯に向き合っています。この様子を受けて、全校朝礼の講話時に「他者に真摯に向き合う姿は、好感を与えます。あなたに何かを伝えたい気持ちになるものです。心からの挨拶を含めた礼儀というのは相手の心を揺さぶります」と話すときがあります。生徒には、この想いを更に育てて欲しいと願っています。

体育祭を終えて、留学生のジャックくんが全校生徒にスピーチをしました。昨年9月に来校して早や10か月、7月3日、アメリカに帰国することになりました。流暢な日本語で次のような挨拶をしてくれました。

「私は、いよいよ帰国することになりました。この日が来るのはあつという間でした。この間、みなさんと過ごせて本当に嬉しかったです。そして、たくさんのことを教えていただきました。ありがとうございます。

私は、この間に思っていることは、やはり”グリット”(grit=頑張る)ということです。いろいろな場面で”グリット”が大切だと思っていますし、みなさんも”グリット”を大切にしてください。

そして、他にも思ったことがあります。人は何かに努力をしますが、その努力は自分ためだけではなく、誰かのために役立つことがあるように思います。努力することは、人の為であることを忘れないでください。

帰国することになりましたが、いつかまたみんなに

会えることを楽しみにしています。ありがとうございました。さようなら」。

心に沁みる挨拶でした。きっとまた会えるように思います。ジャックくん、こちらこそありがとう。gritを忘れないよ。いつか必ず再会しような。

6月21日(日)、心配された前日までの雨も上がり、第1回高校オープンスクールが行われました。午前午後2回の開催でしたが、中学生780名、保護者470名の参加者となりました。昨年度の1.2倍近い参加者となり、本校への興味・関心が高まっていることを示しているのではないかと考えられます。中学生の体験授業の間に学校説明(教頭)があり、その後、高校生が登壇し、生徒目線での学校説明が行われました。

その終盤、高校3年生が「探究」で本校のマスコットキャラクターについて取り組んだ成果発表が行われ、披露されました(全校生徒には6月15日に披露)。



名前 きょっぴー
特徴 協創ブルーの殻に身を包んだヒナ鳥。校門のメタセコイヤに住んでいる。
趣味 空を眺めること

自分の殻を破って世界に飛び立とうとしている。

披露されたとき、拍手こそ沸き起こりませんでした。が、「わあー」という控え目な優しい驚きが起こりました。今後、さまざまな表情のきょっぴーが現れるはずです。どうぞ、お楽しみにしてください。

「協創、最高潮」です。